

【富合町】

〒861-4197 富合町大字清藤405-3
TEL0964-3574111
FAX0964-3580110
<http://www.knet.ne.jp/tomiai/>

■人口 7,950人
(男 3,713人/女 4,237人)
■世帯数 2,521世帯

富合町は、基幹産業である農業との調和を図りながら、まろつくりの目標を「健康・安心・豊かな暮らしを創造する田園文化都市」とし、住民が健康で楽しく、生活がいをもつて安心して暮らせる町を目指し、居住環境の整備、福祉・教育の充実、産業の振興を推進しています。本町には、国指定重要文化財の六段神社楼門や火渡り、湯立ての飛行で有名な日本三大不動の二つ木原不動尊があり、祭りや自然に多くの人が親しんで



富合町長
上田 道晴

【松橋町】

〒869-0592 松橋町大字大野805
TEL0964-3211111
FAX0964-320110
<http://www.town.matsubase.kumamoto.jp/>

■人口 25,025人
(男 11,883人/女 13,142人)
■世帯数 8,242世帯

古くから、温暖な気候と自然を活かし、農業を中心に発展してきました。近年は、松橋インターや四通八達した道路網を利用して企業の立地や住宅地としての開発が進み、人口も年々増加の一途を辿っています。

町では、「庭の美化」一歩進めて「道路まで」を合言葉に、いつも町中に花が咲き誇る「フラワーパークまつばせ」運動を行つたともに、物心ともに豊かで格調高い「潤いと風格のある町」づくりを進めています。



松橋町長
松田 利康

【小川町】

〒869-0696 小川町大字江頭100
TEL0964-4311111
FAX0964-430110
<http://portal.kumamoto-net.ne.jp/town-ogawa/>

■人口 13,927人
(男 6,567人/女 7,360人)
■世帯数 4,135世帯

昭和33年、小川町、益南村(河江村と小野部田村が昭和30年合併)、海東村が合併し、現在の小川町として出発しました。今、小川町は、教育・文化・福祉のまちとしてまちづくりの基本理念を「若者が住む活気に満ちた教育の町・おがわ」とし、生涯教育に係る教育環境を整え、心の豊かな子どもたちを育て、魅力ある地域産業を育成し、住みやすい生活環境を整えることで、住民誰もが健康で活気に満ちたまちづくりを目指しています。



小川町長
松永 信雄

【豊野町】

〒861-4392 豊野町大字糸巻351-6
TEL0964-4521111
FAX0964-452110
<http://www.tofis.jp/>

■人口 5,187人
(男 2,445人/女 2,742人)
■世帯数 1,578世帯

豊野町は、豊かな自然を生かした産業の振興を図り、その拠点となるアグリパーク・鏡ヶ池を一体的な連携を基にした整備を進めています。また、「週休からの脱却」の実現に向け、住民が豊かで暮らしやすい生活環境の整備(総合保育事業・道路整備・上下水道整備等)を最優先で取り組みました。さらに、「ふるさと活性化条例」に基づき、町民主導による地域特性の醸成を目指し、活気ある町づくりを進め



豊野町長
園田 俊宏

【中央町】

〒861-4492 中央町大字鹿嶋1100
TEL0964-4621111
FAX0964-463510
<http://www.knet.ne.jp/chuo/>

■人口 5,258人
(男 2,496人/女 2,762人)
■世帯数 1,608世帯

中央町では「やさしさ」と対話の町づくりをキャッチフレーズとして、町の基本理念である「若者の定住」による「豊かであるおいのある住みよい町」の町づくりを目指しています。その中でも、日本一石段と石段の郷「佐保の湯」を核とした観光レクリエーション基地の実現に向けた各種施策の整備を促進しています。また、生活環境の整備については、町民が文化的で衛生的な生活が営めるよう、上下水道事業等の環境整備に積極的に取り組ま



中央町長
長嶺 興也

【砥用町】

〒861-4721 砥用町大字土岐4
TEL0964-4711111
FAX0964-470110
<http://www.knet.ne.jp/tomochi/>

■人口 7,938人
(男 3,814人/女 4,124人)
■世帯数 2,572世帯

「砥用町」という名の起りは平安時代につくられた倭名抄に「當神(とむぎ)」と出ているのが始まりといわれ、とむぎの「と」は「山」「むぎ」は神という意味があり、「山神の郷」を現しています。本町には国指定重要文化財の霊台橋などの石橋が数多く点在し、山に囲まれた緑川ダムを中心にさまざまな自然体験スポットがあります。また、平成14年6月にオープンする文化交流センターを核とした「文化の香り高い町づくり」を自指しています。



砥用町長
北川 浩一郎